

**第2回登別市総合計画第3期基本計画市民検討委員会
部会長副部会長会議議事録**

- ◆ 開催日時 平成27年7月23日(木) 18:30～ 19:30
- ◆ 開催場所 第1委員会室
- ◆ 出席委員
委員長 仲川 弘誓
副委員長 山田 正幸
ぬくもり部会部会長 雨洗 康江
ぬくもり部会副部会長 田渕 純勝
防災・環境部会部会長 江口 武利
防災・環境部会副部会長 川島 芳治
産業躍動部会部会長 高橋 弘康
まちづくり部会部会長 中原 義勝
まちづくり部会副部会長 渡部 雅子
- ◆ 欠席委員
副委員長 合田 美津子
産業躍動部会副部会長 小川 賢
都市調和部会部会長 長部 正之
都市調和部会副部会長 西尾 拓也
育み部会部会長 安宅 錦也
育み部会副部会長 川村 正勝
- 事務局 沼田総括主幹、上野主幹、野田主査、菊地主査
澤口主任、会田主任
- ◆ 議題 登別市総合計画第3期基本計画の提言書について

◎委員長

皆様ご苦労さまです。

総合計画第3期の基本計画の策定の方が大体出来上がったとの事で、事前に送付いただいておりますが、日数があまりなかったこともあって、十分目を通し切れていない部分もあるかと思いますが、事務局の方からまず説明いただきたいと思っております。

注意していただきたいのは、各部会で個々にご検討されているものですから、今回すべての部会の提言書をお配りしたのは、それぞれの部会の提言書の整合性がとれているかどうかを確認していただくためです。

本日は皆様のご意見を聞きまして、最終的な提言書にまとめていきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

それでは提言書案について事務局の方から説明していただきたいと思っております。

◎事務局

委員長から説明があったように26年の3月にこの委員会を立ち上げさせてもらい約1年4か月、これまで皆さんに色々のご検討をいただきました。

お忙しい中、ここまで一緒にお付き合いをいただいたことにまずは心からお礼を申し上げます。

提言書についてですが、委員長がおっしゃったように読み込む時間が少ないのかなと思いますのでここで結論を出していただくつもりはありません。

提言につきましては、体系図には書けない想いの部分を提言書に記載しているつもりではあります。

また、みなさんからいただいたご意見をもとに全庁的に検討をさせていただきます。また、体系図の修正すべきところは修正をしています。

体系図がこれで成案となった場合には、これをもとに基本計画の本体を作っていくこととなります。

導入に記載している、「私たちの思いと願い」については、全部会にまたがる部分で、皆さんからいろいろいただいたご意見をもとにして記載しております。全部会が共通のものとなりますので、これについて書き足りないとか修正があるというのであれば、修正させていただきたいと思います。

各部会の提言については、全部会の内容をお付けしておりますが、委員長のお話にあったとおり、全体的なバランスを各部会でも見ていただきたいと思います。基本的にはそれぞれの部会で1年4か月かけて、いろいろご検討していたものに対して他の部会がこうすべきと発言するのは、ご遠慮いただきたいと思います。

今後は8月の上旬をめどに各部会を開催していただき、あまり時間はとれないのかなということもありますので、各部会1回から2回程度で、修正すべき点をお話しただいて、提言書を成案にしたいと思っております。

まずはここまでの説明でいかがでしょうか？

まず初めの「私たちの思いと願い」の部分は目を通されましたでしょうか

こちらは基本的なことしか書いていませんが、これから10年後の遠い将来を見通した大きな夢に向け取組んでいきたいということと、市民と企業・団体・行政など、さまざまな主体が、やるべきことを責任を持って進めていこうということが記載されています。

基本的には、各部会の中でご意見を出していただければと思いますが、何かありますでしょうか。

◎委員

ぬくもり部会の部分ですが、障がい者スポーツに関して記載が弱いように感じまして、また違う部会ですがスポーツ施策を取り扱う部会で協議が無かったのかなと思いました。

自分の部会でも協議させてもらいますが、5ページの上で障がい者に対する文章が、弱いのかなと思います。

あくまでも部会で検討します。

少子化についても議論したのですが、まず子供を育てる環境は大事なんだと、子供を育てる環境を十分に構築しないと生む環境にならないと感じました。

なかなか言葉として表せなかったのですが、改めて部会で検討したい、この2点です。

◎事務局

少子化については、どの部会でも関わってくる部分で、特効薬はないと感じています。

登別だけに限った話ではないが、ある程度重点的に対応していきたいと思っています。

その他にありますか。

◎委員

自分が参加しているまちづくり部会については、話し合ってきたことがしっかり記載されていると感じました。

男女共同参画のことですが、提言案の6ページで、男女共同参画社会の実現で、女性の地位が低い傾向が見られますと書いてあるが、間違いなく低いと感じています。

少し気になったのは、女性が自ら意識を高めてと書かれているだけで、単純に女性自身の問題なのかなとこれを見て感じました。

男女共にいう表現の方がいいと思うのですが、部会の中で考えていただければと思います。

もう一点、男女共同参画社会の実現は教育と密接にかかわってくるので、この部会ではないのかなと思うのですが、児童教育・学校教育とのかかわりもちよつとあったらいいのかなと思います。

次に24ページの上から3行目ですが、「今後においても、住みやすく、魅力あるまちであり続けるためには、町内会活動を活性化するなど」とありますが、町内会だけではなくて、さまざまな主体が関わる事ですので、町内会活動だけではなく、各市民団体という表現の方がいいのではないかなと感じました。

◎事務局

各部会にこういう意見が出ましたとお伝えしたいと思います。
あと他にありますか。

◎委員

1つ質問ですが、人口の3分の1程度が室蘭に働き場を求めている現状で、室蘭市だけが大企業向けの政策を決めているが、登別市も何らかの関わりがあってもいいのかなと感じています。

◎委員

部会で話題にしてみたい。

◎事務局

産業躍動部会の中では、観光だけで登別の市民が生計を立てている訳ではないという話は出ていました。

産業クラスターの取組は、すでに終わっていること、また登別市は観光を基幹産業としながらも観光とかかわらないで生計を立てている方は大勢いる状況で、観光だけに特化するのではなく他の産業を伸ばさないといけない。

そういったことから今回の体系図でも、第2期計画のときは観光産業を一番上にもってきたが、商工分野を上にも組み替えている。

普通の中小企業の活性化を目指すという議論をしたが、企業への支援として何が必要なのかというのはなかなか難しく、結論は出なかった。

室蘭市の企業にアクションを起こすというのは、やはり違和感があって、市内産業を対象に、基本計画を構築していくべきなのかなと感じている。

市内の中小企業の活性化を考えるべきというのが議論の中心でした。

◎委員長

12ページの農業の部分で、「稲作や畑作に向かない」と断言して書いているのは、現に生産されている方に対してどうなのかなと感じました。

もう少し柔らかく書いていただければ、誤解を生まないと感じました。

◎委員

教育関係で、学校運営協議会の位置づけ・活用などについて、学校単位だけではなくて、横の連携も重要である。

◎事務局

この委員会の性格として、単純な要望だけにはしない、自分たちの取組も考えながら、を基本に提言しています。

しかし提言書に書いていないからと言って、そのことに2度と触れないといった組織ではなく継続してやっていきたいと思っています。

ここで全て解決するのは無理だと感じていて、1年4か月経ってみても、足りないことはたくさんあり、まだ大枠しかやっていないのが実情で、どうしてもかば、この方向性を示した基本計画に基づいて、これからずっと皆さんと考えていきたいと思っています。

◎委員

自分が参加する部会でもお話ししたが、市民が描くまちづくり構想から始まり、市長がさらに検討を加えて、市長私案として出されたものについては、あの私案を基礎としてこれからのまちづくりをやっていくという意味では、別冊でもいいから、何らかの形で基本計画に残してほしいと感じている。

また、福祉制度・介護制度の見直しがあるが、NPO活動でも要介護者で保険がきかなくなった人に対し、地域が面倒を見るといったことが考えられる。

NPOはボランティア精神なので、そういう組織でないと面倒がみれないと感じている、そういうところが今回の基本計画では足りないのではないかと。

◎事務局

地域とともに描くまちづくりについては、基本計画の別冊的な資料として整理をしたいと考えています。

市長私案については、今までいろんな人をから聞いたことをベースとして、夢も実際に実現させるものも混在している。

それを踏まえた上で、地域で描いたまちの姿を、地域の想いとして表現したい。

◎委員

第2期基本計画の反省点は第3期基本計画にどう結びつけるのか。

◎事務局

一番最初の資料の中に第2期基本計画の仮総括ということで、皆さんにお配りしている。

ただし途中経過の仮ですので、平成27年度が終わり平成28年度に入った

段階で、本格的な検証をします。

ですから検証については、市民自治推進委員会に移行してからの話になると思います。

実施計画についても、3年3年4年で計10年間の計画を立てますが、最初から10年間の計画を立てるのはリアリティがないため、どのように表現しようか検討しています。

まずは、アウトラインだけは作って当初3年間のものはきっちり出したいと思います。

◎委員

そのために基本計画の策定委員会を設けたのだから、事業として新たに必要なのはなにか整理してほしい。

我々が言った意見はどこにも反映されていないことになる。

行政は金のかかることを市民に約束できない点はわかるが、なんとか工夫してやってほしい。

◎事務局

第3期基本計画については12月の議会に提案するつもりですので、それまでの間に部会もありますし、その中で具体的な事業も見据えながら成案とします。

こういう事業を組めないのかという話はあってしかるべきで、この1年半で市民との協働のステージはかなり変わったと思っています。

このステージを使って事業も検討していく場にしたいと思っています。

できること、できないことを相互が理解したうえで協議していくのが理想で、3年間なにもしないわけではありません。

◎委員

協働のまちづくりを進める上で、市民自治推進委員会が無い。

どの部局が担当するのか。

◎事務局

長い期間協議を続けた基本計画策定委員会が、市民自治推進委員会として生まれ変わり、施策に新しいものを加えたり、方向転換についても検討していく。

基本計画に関わることなので、企画調整グループは今後も関わります。

市民自治推進委員会の運営は、市民協働グループですが、お互いに関わり合いながらやってきます。

例えば協働とはそもそも何か、また協働の指針作りも必要になる。

まちづくり基本条例自体も見直しを念頭に入れないといけない。

基本計画を作るだけではなくて、来年度の事業をどうしていくんだという部分も考えなければならない。

せっかくこれだけの市民団体等と一緒にステージで色々なものを協議していく場ができたので、互いに情報交換をして、よいまちとなるために考えることができる場となってほしい。

◎委員長

一番大事なのは、協働のまちづくりの部分で、ここは市民の責任、ここは行政の責任、ここは企業の責任ですと、個々が責任をもってやっていく役割分担をつくるべきだと思う。

◎事務局

次に提言書を市長に渡すときの、渡し方についてですが、

1つ目は、全部会員いる中で市長に渡す方法ですが、若干非現実的かなと思います。

2つ目は、委員長・副委員長・部会長・副部会長がいる中で市長に渡す。

3つ目は、委員長・副委員長だけがいる中で渡すですが、この委員会にはなじまないと思います。

やはり、それぞれの部会を代表する方もいてほしいですし、それぞれの思いを言いながら提言書を渡したいとも思います。

ご意見を頂けないでしょうか。

◎委員

各部会の部会長・副部会長と委員長・副委員長を合わせると全部で15人程度で、部会長と三役だったら9名になる。

9名のパターンで良いのではないか。

ただし、部会長が出られない場合は、副部会長がでることとする。

◎事務局

提言書を手渡すのは、お忙しいとは思いますが日中にしてもらいたいと思います。

ご意見をまとめると委員長・副委員長に出席いただき、加えて部会長の参加は義務とし、副部会長は、時間があれば出ていただくという形でのよろしいですか。

◎委員

良いと思う。

◎事務局

それでは、そのように調整させていただきます。

部会長・副部会長にお願いしますが、部会員の皆さんも他の部会に関して、意見をたくさんもっているかもしれませんが、今日頂いた意見は検討しますが、さらに皆さんがほかの部会に意見を出してしまうと、収集つかなくなりますので、部会長・副部会長は自分の部会のみ意見を出すようお願いをしてほしいと思います。

◎全委員

了解しました。

◎委員長

それでは、部会長・副部会長会議を終了したいと思います。